

氏名： 加藤 悦子

実施国：ルワンダ共和国

協力活動

(1) 計画通りに実施されましたか？運営面・経理面での変更点はありましたか？

- ・ 購入予定であった電動彫字機は現地対応 230V の機械が調達できず、電動糸鋸は工務店の物流力不足で調達できなかった。その余剰金を給食費や工房運営費に用途変更した。
- ・ 工房運営費補助として、現地ボランティア岡田環さんから工房へ毎月末に手渡しいただくよう協力いただいた。
- ・ 給食サービスについては、良好に運営できた。

(2) 実施の結果（良かった点、反省点を含めて）

- ・ 給食サービスは、鍋や包丁などの備品を購入後、まかないさんを雇おうと予定していたが、彼らの中から自分達で給食を作るので人件費も材料代に回したいという話になり、実際そうすることにした。給食当番をサボろうとしたりごまかそうとする子もいたが、まさに「自治」で、自分達で決まりを作り自分達でごまかしを追求し、解決していった。すべてお膳立てするのではなく、彼らが望むことであれば自分達で「やれる」のだと私自身が実感できたことが大きな収穫だった。
- ・ 機材の調達について、「現物を見るまで安心してはいけない」という途上国のおきてを痛感した。1 週間で来るよ、という言葉信じて申請したが大嘘であった。いくら希望通りの機材であっても、目の前にあるということが最大優先事項であると反省した。

(3) 異国の参加者同士または本人が相互理解を深めたと確信できた場面は？

または実施事業に対する一般の反響は？「協力活動」「調査研究」「海外での研修」

- ・ 給食サービスの運営会議を開いているとき、お昼ご飯が食べられると聞いたときの彼らの喜びはとても大きかった。ライブでお見せできないのが残念。

